

体験プログラムの提案

NPO法人 石見銀山資料館は、日頃から資料の収集・保存、資料館での展示、調査研究に加え、教育普及として学校での学習活動を積極的に支援しています。2021年度からは大森町の町並み公開施設である熊谷家住宅、旧河島家、宗岡家の指定管理を受け、運営しています。

毎年、全国から多くの学校が修学旅行で訪れ、公開施設を見学して頂いています。一定の学習効果を感じる一方で、石見銀山の多様な価値に触れて頂くには、見学のみでは不十分であることも否定できません。

石見銀山は、その歴史的な価値だけでなく、「自然との共生」「遺跡と暮らしの共存」もまた世界遺産として評価されています。そのような多様な価値を伝えるべく、この度、新たにプログラムを作成しました。学校様の行事の目的に合わせてアレンジも可能ですので、お気軽にご相談ください。皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

NPO法人 石見銀山資料館スタッフ一同

「蚊帳」ってなに？

「蚊帳」という現代ではほとんど使うことのない道具を通して、今と昔の生活様式の違いについて考える。また、限られた条件の中で、どのように工夫すればより快適に生活できるかを考える。



プラスチック製品を探せ！

私たちの暮らしの中には、プラスチックなどの化学製品があふれている。熊谷家・河島家の展示を通して昔の生活道具が木・竹・紙・土などの自然素材で作られていることを学び、環境問題について考える。



江戸のキャリア教育

熊谷家の建物、部屋のしつらえ、家財道具の見学を通して、それらを作った職人について「職人尽絵詞」から学習する。また、現代における技の継承と職人の確保の問題について考える。



江戸時代の身分を考える

江戸時代における身分の違いについて学習する。実際に、武士の河島家と商人の熊谷家について家構、間取り、調度品などを比較してみることで、教科書にはない江戸時代の身分の実態について考える。



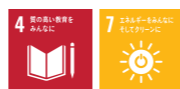
石見銀山かるた巡り

石見銀山かるたに登場するモノ、場所を地元ガイドと一緒に巡り、石見銀山について楽しみながら学習する。また、石見銀山かるたが作られた経緯や背景を知り、石見銀山が世界遺産に登録される前の地域の方々の想いに触れる。



火打ち石で火をおこそう！

現代のマッチやライターが日本に普及するまでは火打ち石で日常の火をおこしていた。また、火をおこす以外にも、儀式や厄除けの為に使われている。火打ち石を通して、昔の暮らしについて学習する。



柿渋と日本文化

防水性、耐久性、消臭効果など、さまざまな効果を持つ天然素材の柿渋は、日本において古くから塗料や染料として用いられてきた。その用途や効果について学び、現代では衰退してしまっている背景について考える。



宿泊 まなびの宿 宗岡家

「まなびの宿 宗岡家」は大森代官所において、地役人として勤めた武士の屋敷です。

宿泊料金	20,000 円 (税込) / 棟
貸布団料	1,100 円 (税込) / 人泊
※ 1 棟 10 名までご宿泊いただけます。	
※ 2 泊目以降：5,000 円引き / 棟	



お問い合わせ先

受付：重要文化財 熊谷家住宅

TEL：0854-89-9003 (午前 9 時 30 分～午後 5 時)

※ 毎週火曜日 (祝日の場合は翌日) は休館日です

※ 「重要文化財 熊谷家住宅」は NPO 法人 石見銀山資料館が指定管理を受けて運営しています

※ 各プログラムの体験料金については、「重要文化財 熊谷家住宅」の HP よりご確認ください

作成：石見観光振興協議会

石見銀山資料館

重要文化財
熊谷家住宅

まなびの宿
宗岡家



石見銀山

世界遺産登録15周年

教育旅行 素材集



世界共通の目標として掲げられている「持続可能な社会(持続可能)」な社会を500年も前に実現していた石見銀山。

石見銀山は今年世界遺産登録15周年を迎えます。ぜひ、修学旅行や学校行事で、石見銀山の「持続可能な社会」をご体験ください。

IWAMI GINZAN
SUSTAINABLE
TRIP



宗岡家

熊谷家住宅



石見銀山で学ぶSDGs

IWAMI GINZAN SUSTAINABLE TRIP

旧河島家

1 風呂敷作りと活用を考える



江戸時代に書かれた絵本や昔の道具を鑑賞し、日本の伝統的な生活に触れ、環境に配慮した生活や、物の使い方について自ら考え工夫する力を養う。また、風呂敷作りを通じて、手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の使い方を学ぶ。

場 所	熊谷家、旧河島家	所要時間	60分
収容人数	40名	対象学年	小学3年生～高校生

内 容

- 江戸時代の絵本、浮世絵などを鑑賞し、絵の中に描かれている風呂敷を探す
- 風呂敷の作り方を見る
- 風呂敷を選び、実際に衣類や重箱、瓶などの包み方や持ち運び方を体験する
- 風呂敷を作ってみる(学校や家庭で)



2 布袋作り・ぬかの活用を考える



私たちが普段食べているお米について学ぶとともに、ぬかの活用、布袋の活用(使い古した布で作る)を学ぶことで、日本の伝統的な生活に触れ、環境に配慮した生活について考え工夫する力を養う。また、布袋作りを通じて、手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の使い方を学ぶ。

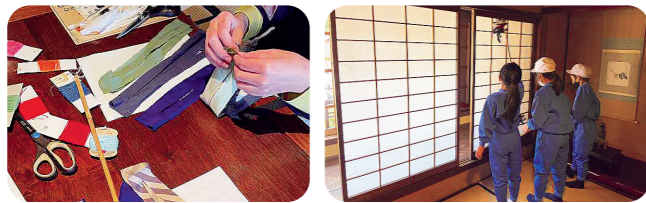
場 所	熊谷家、旧河島家	所要時間	60～90分
収容人数	40名	対象学年	小学3年生～高校生

内 容

- 布袋の作り方を見る
- 実際に布袋にぬかを入れて、床や筆筒を磨く
- 使った後は畑に埋めて肥やしにする
- 学校や自宅で作ってみる



3 そうじの基本とそうじ道具を作ってみる



昔の人のそうじ方法や道具から、そうじの基本である「上から下へ」「汚れはため込まないで軽いうちに落とす」を実践的に学び、快適な住まい方について考える。また、電気(掃除機)を使わない掃除を通して、環境に配慮した生活について考え工夫する力を養う。

場 所	熊谷家、宗岡家	所要時間	60～90分
収容人数	40名	対象学年	中学生～高校生

内 容

- 着なくなった服や布切れを使ってはたきを作る
- はたきかけ
- 掃き掃除、拭き掃除
- 物を最後まで使い切る事について考え、すぐ実践できることを発表する



4 かまどでご飯炊き



「かまどとは何か」を出発点、実際にかまどを使いながら昔の暮らしを体験し、かまどが家庭から姿を消した理由を考える。「かまど」での炊飯体験を通じて、人々の暮らしの知恵や経験に触れ、食の大切さについて考える。また、燃料として森林の利用について学ぶ。

場 所	熊谷家	所要時間	60～180分
収容人数	40名	対象学年	小学5年生～高校生

内 容

- 昔から現在までの台所の変遷を学ぶ
- 米の計量と洗米
- 薪割りなど燃料を準備する
- かまどに火を入れて炊飯
- 昔の暮らしの知恵に触れ、感じたことを発表する



5 洗濯板から水の大切さを考える

洗濯板を利用した衣類の洗濯では、全自動洗濯機に比べて水の使用量が少ない上に、江戸時代にはムクロジやサイカチなどの植物が洗剤として利用されていた。洗濯という日常の行為から水と環境について考える。



場 所	熊谷家	所要時間	30～45分
収容人数	40名	対象学年	小学3、4年生

内 容

- 絵画資料で昔の洗濯の様子を学ぶ
- 洗濯板での体験
- 江戸時代の洗剤についての座学
- 水の大切さについて感じたことを発表する



6 自然にある植物を使って、野草茶を作る

どこでも手に入れることのできる草や木の葉っぱを使って野草茶を作る。自然の植物や古い道具類について知り、自然と共生する暮らしについて考える。



場 所	熊谷家、宗岡家	所要時間	30～60分
収容人数	20名	対象学年	小学3年生～高校生

内 容

- 材料の準備
- 乾燥した材料を使い七輪に焙烙を乗せ、いり上げる
- 炒り終わった材料を混ぜ冷ます
- お茶パックに詰める
- 試飲する



7 昔の道具を使って計る、量る、測る体験

江戸時代の度量衡を実物の器具を使って実際に計量を体験し、その使い方を知る。また、熊谷家が請け負った「掛屋」について学習する。



場 所	熊谷家	所要時間	60～90分
収容人数	40名	対象学年	小学3年生～高校生

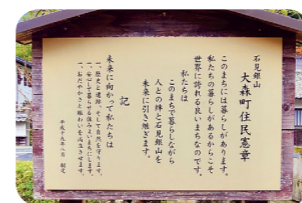
内 容

- 枡、秤(天秤秤、竿秤、台秤)、ものさし(鯨尺、曲尺、メートル尺など)の使い方を知る
- 江戸時代の教科書「改算記日用算」などを使って、算数の問題にチャレンジ
- 掛屋についての座学



9 世界遺産と暮らし

石見銀山は、国内で数少ない人が住んでいる世界遺産であり、それ故に抱えている課題について学習する。大森町の事例を参考に、文化財と共に暮らすまちづくりについて考える。



場 所	大森まちづくりセンター	所要時間	60～120分
収容人数	60名	対象学年	小学5年生～高校生

内 容

- 石見銀山の世界遺産登録後に抱える課題についての座学
- 大森町の文化財保存の取り組みを知る
- 町並みを散策する
- 自分たちのまちのあり方を考える



10 石見銀山ガイドツアー

分かりにくいと言われる石見銀山の魅力を、ガイドの分かりやすい説明を聞きながら散策する。現地に訪れるからこそ得られる魅力や価値が感じられる。



場 所	銀山公園	所要時間	90～120分
収容人数	200名	対象学年	小学3年生～高校生

内 容

- 「銀山坑道コース」または「大森町並みコース」をガイドと共に散策
- 散策して得た気づきを全体で共有する

